

拒絶理由通知書

| | |
|----------|-----------------------------|
| 特許出願の番号 | 特願 2003-194693 |
| 起案日 | 平成 20 年 6 月 3 日 |
| 特許庁審査官 | 松尾 淳一 4190 5Q00 |
| 特許出願人代理人 | 井上 学 様 |
| 適用条文 | 第 29 条柱書、第 29 条第 2 項、第 36 条 |

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から 60 日以内に意見書を提出してください。

理 由

A. この出願は、発明の詳細な説明の記載が下記の点で、特許法第 36 条第 4 項第 1 号に規定する要件を満たしていない。

B. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 36 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

C. この出願の下記の請求項に係る発明は、下記の点で特許法第 29 条第 1 項柱書に規定する要件を満たしていないので、特許を受けることができない。

D. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用例等については引用例等一覧参照)

理由 A

1. コンテンツ ID が付けられたコンテンツと、コンテンツ ID に対応するサービスコンテンツが 1 対 1、1 対多、多対 1、多対多のうちどれに対応するのか、実施出来る程に明確でない。

2. ディスクに記録されたコンテンツを再生する前に、ディスクからこれから再生するコンテンツのコンテンツID200を読み出し、これから再生するコンテンツのコンテンツID200が、管理用データベースへ登録される（【0027】）。

そのため、そのコンテンツを一度も再生せず、サーバにも接続せず、そのコンテンツIDに対応するサービスコンテンツが再生装置にダウンロードされていないが、コンテンツIDと、コンテンツURLだけは読み取られ、管理用データベースに、そのコンテンツIDが登録されている場合は、そのサービスコンテンツは、再生装置に存在しないにもかかわらず、ダウンロードができないのではないかな。

3. 「コンテンツID200に対応するコンテンツを選択する」（【0034】）と、「他のコンテンツIDに関するサービスコンテンツも選択して」（【0032】）のコンテンツID情報と、サーバが提供する「サービス提供者が提供するコンテンツに関するタイトルの一覧」（【0040】）の関係が明確でなく、どのような情報を再生装置100が送信し、その結果、どのようにしてサーバ101がタイトルの一覧を示す（【0040】）のか実施出来る程に明確でない。

4. 「サーバ101は、コンテンツID200に対応するサービスコンテンツとして映画の2作目についてのサービスコンテンツを送信するところ、」（【0035】）とあるが、1作目のみに対応するサービスコンテンツは存在しないのか、存在するのか明確でなく、1作目のサービスコンテンツと2作目のサービスコンテンツは同一のものであるのか明確でない。

5. 図4において、タイトルA、タイトルB、タイトルCが、コンテンツIDに対応するコンテンツであるのか、コンテンツIDに対応したサービスコンテンツであるのか、実施出来る程に明確でない。

6. コンテンツID200と他のコンテンツIDに対応するコンテンツしか、図4には表示されないの（【0034】）、

もし、タイトルA、タイトルB、タイトルCが、コンテンツIDに対応するコンテンツであれば、サーバは「コンテンツID200に対応するサービスコンテンツ」（【0034】）を選択するので、表示されている全てのタイトルにアイコン表示405が付くのではないかな。

7. またもし、タイトルA、タイトルB、タイトルCが、コンテンツIDに対応するサービスコンテンツであれば、タイトルAのみにアイコン表示405が付くとなると、サービスコンテンツA、B、Cに対応する管理用データベースが必要

になるのではないか。

理由B

1. 請求項1記載の記録媒体において、記録媒体自身は、再生手段と、送信手段を持たず、また、記録媒体自身は、サーバーから第2の画像音声情報や文字情報をダウンロードすることは出来ないで、

「前記第1の画像音声情報と前記第1の画像音声情報を識別するための識別情報と前記第1の画像音声情報に関するURL情報は再生手段によって再生され、

前記第1の画像音声情報を識別する識別情報は、前記再生された前記URL情報に基づき、前記URLを有するサーバへ送信手段によって送信され、

前記第1の画像音声情報に関する識別情報は記憶手段によって記憶され、

前記再生手段により前記記録媒体から再生された前記第1の画像音声情報の識別情報が、前記記憶手段に記憶されていない場合には、前記識別情報は前記記憶手段に記憶され、

前記識別情報が前記記憶手段に記憶されている場合は、当該識別手段に対応する、前記第1の画像音声情報とは異なり前記サーバからダウンロードする第2の画像音声情報や文字情報が前記サーバからダウンロードされないこと」は、記録再生装置の処理を限定しているに過ぎず、記録媒体に対しては何も限定していない。

そのため、記録再生装置の限定が、記録媒体に対してどのような限定をしているか明確でない。

また、請求項1を引用した請求項2も同様のことが指摘される。

2. 請求項3記載の「サーバからダウンロードする第2の画像音声情報や文字情報を受信する受信手段」において、ダウンロードしない場合の記載はあるが、ダウンロードされる場合についての記載が無いため、どのような場合にダウンロードされるのか明確でない。

3. 請求項5記載の「サーバから受信する前記第2の画像音声情報」が、どのような場合に受信されるのか明確でない。

4. 請求項5記載の「記憶手段に登録されていない識別情報に関する第2の画像音声情報 ～(中略)～ 出力する再生装置」において、記憶手段に登録されていない識別情報は、膨大な数であり、その識別情報に関する第2の画像音声情報が、どのようにして選択して指定されるのか明確でない。

5. 請求項5記載の「情報を表示する」と「情報を前記表示手段に出力する」において、「情報」が何であるのか明確でない。

6. 請求項1、3記載の「識別手段」が明確でない。

理由C

1. 請求項1記載の記録媒体において、理由Bの1で述べた様に、
「前記第1の画像音声情報と前記第1の画像音声情報を識別するための識別情報と前記第1の画像音声情報に関するURL情報は再生手段によって再生され、
前記第1の画像音声情報を識別する識別情報は、前記再生された前記URL情報に基づき、前記URLを有するサーバへ送信手段によって送信され、
前記第1の画像音声情報に関する識別情報は記憶手段によって記憶され、
前記再生手段により前記記録媒体から再生された前記第1の画像音声情報の識別情報が、前記記憶手段に記憶されていない場合には、前記識別情報は前記記憶手段に記憶され、
前記識別情報が前記記憶手段に記憶されている場合は、当該識別手段に対応する、前記第1の画像音声情報とは異なり前記サーバからダウンロードする第2の画像音声情報や文字情報が前記サーバからダウンロードされないこと」は、
請求項1に係る発明を実質的に限定するものではない。

そのため、請求項1に係る発明は、記録媒体としては、
「第1の画像音声情報と、
前記第1の画像音声情報を識別するための識別情報と、
前記第1の画像音声情報に関するURL情報と、が記録された記録媒体であって、」
の限定しか実質的にはされておらず、これは提示される情報の内容にのみ特徴を有するものであって、情報の単なる提示に過ぎず、特許法第2条1項に規定する発明ではない。

また、請求項1を引用した請求項2も同様のことが指摘される。

理由D

- ・請求項1、3～4
- ・引用例1～3
- ・備考

引用例1には、主データと、主データの個別ID（ISRC）と、主データに対応するURLをもつ記録媒体から、個別IDとURLを読み出し、URLに個別IDを送り、URL先から主データに関連する画像情報を受信するものが記載されている。

引用例2には、記録媒体からコンテンツデータ毎の属性情報を取得し、属性情

報をホスト装置に送信し、ホスト装置が、受信した属性情報に基づいてデータベースを検索し、その属性情報における識別情報に共通するコンテンツデータの属性情報を端末装置に送信するものが記載されている。

引用例3には、画像識別キーが記憶部に記憶されている場合は、画像識別キーに対応するイメージデータをダウンロードしないもの（【0021】～【0022】）が記載されている。

- ・請求項5
- ・引用例1～4
- ・備考

引用例4には、端末装置が、配信サーバから送信された音楽データのリストを受信し、受信した音楽データのリスト中に、端末装置に記憶された音楽データが、有るか無いかを識別して表示するものが記載されている。

- ・請求項2、6
- ・引用例1～5
- ・備考

引用例5には、MPEG圧縮された情報を伸張し、表示手段に情報を出力するものが記載されている。

⑤ 引例3だけ今回新たに引用、他の4件は前回同様。

引用例等一覧

| | 前回の引例番 |
|---------------------|--------|
| 1. 国際公開第01/015164号 | 1 |
| 2. 特開2003-150632号公報 | 3 |
| 3. 特開2002-125183号公報 | X |
| 4. 国際公開第01/071708号 | 2 |
| 5. 特開平11-313283号公報 | X |

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC G11B27/00-27/34,
G11B20/10-20/16,
H04N5/76,
H04N5/91

DB名

- ・ 先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 データ記録 若林治男

TEL. 03 (3581) 1101 内線3590

FAX. 03 (3580) 6906